

産官学連携でRISTをビジネスの起爆起点に

RIST企画委員
(株)KIS 経営企画室
二見 孝一



RISTとの出会いと法人会員加入までの道のり

私自身、熊本本社のSIer(システム開発会社)で長らくITエンジニアとしてシステム開発に関わっていましたが、三年前に経営企画室へ異動になり、新規事業創出や研究開発の領域を担当することになりました。

いきなりエンジニアから企画職に異動したわけですが、ビジネスは「競争」から「共創」へと変わり、多様な人たちとの「協業」が必要な時代になり、熊本でもビジネス創発の場がないのか…と探しました。そんな時に出会ったのがRISTでした。

恥ずかしながら、それまで名前を聞いた程度の認識で具体的な活動などを知っていた訳ではありませんでしたが、「ここはいい!」と直感し、初年度まずはRISTに個人会員として加入し、翌年に会社として法人会員で加入いたしました。

ぶっちゃけた話を書くと、なぜ初年度は個人会員だったかという、法人会員費がそれなりの金額なので初年度に経営陣から法人会員での加入のOKをもらえなかったからです。

一年間の活動を通じRISTの魅力を経営層に伝えることで、翌年度に法人会員への加入というプロセスを取りました。これからRISTへ参加を検討している企業の担当の方は、こういうボトムアップ法もあるということが参考になれば幸いです。

「ビジネスの起爆装置」として活用を

大学・高専の理工系の先生方が多数参加されているので、それぞれの研究テーマに新規事業のシーズがたくさんあります。また、企業側のニーズ・技術と先生方が持つシーズ・技術を組み合わせることで新しいビジネスを生み出したり、課題の具体的な解決方法が見つかる場合もあります。

私を感じる、企業側から見たRISTのメリットをざっくりとあげてみます。

- 1.産官学連携の枠組みを使ってビジネスができる
- 2.大学・高専の先進的技術を仕事に活用できる
- 3.人脈形成に役立つ
- 4.技術者の育成に活用できる

県外や首都圏の企業がコラボレーションに熱心な中、私たち地場の企業がRISTが持つ資源を活かしきれていないのは何とももったいないなあ…と感じている所です。

RISTは、研究・学術的要素が強いと見られがちですが、その中身は「産官学連携によるビジネス創出のプラットフォーム」です。

フォーラムの企画や運営、あるいは企業のビジネスを加速するための「技術検討会・事業化プロジェクト」などの様々な取り組みをやっています。企業の皆さんにはRISTの会員となって頂き、「ビジネスの起爆装置」として活用して頂くことを願っております。まずは定例開催のフォーラムに参加して頂き、終わった後の情報交換会で親交を深めて頂ければ幸いです。

みなさまのご参加、お待ちしております。